

平成30年度事業報告書

〔平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで〕

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの当財団の平成30年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成30年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は、下記の特別展やイベント等を開催したほか、開催情報の事前告知、マスコミへの取材対応等を行いました。その結果、入館者数については、前年度より2千人多い183千人（対前年比1.2%増）となりました。

(1) 特別展の開催

ア「日本にけるリニアメトロの誕生・紹介展～知らなかったことがわかる！？～」

(平成30年6月12日から8月12日まで開催)

この特別展では、日本におけるリニアメトロ誕生の経緯と仕組み、特長などを概略図や写真等により解説するとともに、日本で初めてリニアメトロが誕生した大阪市交通局の鶴見緑地線（その後長掘鶴見緑地線）及び今里筋線、東京都交通局の大江戸線、神戸市交通局の湾岸線、福岡市交通局の七隈線、横浜市交通局のグリーンライン、仙台市交通局の東西線の6都市7路線についてパネルや映像、模型電車等で紹介しました。また、副題の「知らなかったことがわかる！？」とあるとおり、リニアメトロとリニア新幹線との違い、などを展示解説しました。

なお、特別展の開催に当たっては、一般社団法人日本地下鉄協会をはじめ、大阪市交通局（現：大阪市高速電気軌道株式会社）、東京都交通局、神戸市交通局、福岡市交通局、横浜市交通局、仙台市交通局の協力をいただきました。

イ「地下鉄千代田線全通・半蔵門線開通40周年展」

（平成30年12月11日から平成31年1月27日まで開催）

この特別展では、地下鉄千代田線が全線開通してから40年が経過し、また、営団地下鉄の7番目の路線として地下鉄半蔵門線の最初の区間である渋谷～青山一丁目間が開通して40年を迎えたことから、両線の建設に至る経緯のほか、開業後の状況、豆知識などを当時の世相等を踏まえ、歴史年表やパネル等により紹介しました。

ウ「地下鉄の環境展～地下鉄車両を中心として3Rの取組み～」

（平成31年3月12日から4月21日まで開催）

この特別展では、東京地下鉄株式会社が取り組んでいる様々な環境活動の実績等を記載した「社会環境報告書」を参考にしつつ、特に地下鉄車両にスポットをあて、新型車両の導入により、古い車両はどこへ行ってしまったのかなどについて、3つのR（Reduce、Reuse、Recycle）の視点から展示解説し、パネル等により紹介しました。

なお、特別展の開催に当たっては、東京都交通局をはじめ、他鉄道会社の協力をいただきました。

エ「写真で見る地下鉄今昔展～昭和30年から40年代・東京の街並みを中心に～」

（平成30年9月11日から10月28日まで開催）

地下鉄の開業により、東京の街の様子が時代とともに変化し、地下鉄は都市機能の一部としてなくてはならないものとなっています。今回、写真で見る地下鉄の歴史として路線別、開業年別にわかるメトロアーカイブアルバムの中から抽出した写真のほか、お客様から寄贈された写真を、現在の写真と比べ「地下鉄今昔展」として紹介・展示しました。

なお、この特別展は、通常の特別展より小規模な展示として開催しました。

（2）イベントの実施

入館されたお客様に楽しんでいただけるよう、春休み、ゴールデンウィーク及び夏休みなどの各期間を捉えて各種イベントを行いました。特に、鉄道の日イベントでは学芸員によるセミナーとして「地下鉄の歴史や博物館の見所」を解説したほか、「東京地下鉄道工事乃実況で振り返る日本初の地下鉄建設記録映画」の上映も行いました。また、「ぎんちゃん・まるちゃんふれあい会」「1001号車車内特別公開」についても適時行いました。

(3) 教育実習活動の実施

学芸員資格取得のための博物館実習を実施したほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習（チャレンジ・ザ・ドリーム）の受入れ等教育実習活動を行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保管するとともに、データベース化した貴重な資料を活用・公開している「メトロアーカイブアルバム」について内容の更新を行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

本年度実施した主な展示物の改良等は、以下のとおりです。

- ア 券売機及びPOSシステムの更新（入館料情報をシステムに連動させるための更新）
- イ プレイランドコーナーのQ&Aの更新（経年劣化等）
- ウ 受水槽の縮小化（衛生環境改善のため受水槽内の回転率向上を図る）
- エ その他（路線映像の撮影、展示物の多言語化、特別展用の模型台車制作等）

本年度も地下鉄博物館の管理・運営に当たっては、なお一層多くのお客様にご来館いただけるよう、博物館のホームページ、駅構内掲出のポスター、携帯サイト等の各種媒体を通じて特別展やイベント開催等を紹介しました。また、東京メトロが主催する車両基地イベントに参加するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材に積極的に対応し、博物館のPR、お客様の誘致活動を推進しました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、地下鉄博物館ホール及び駅構内において、「メトロコンサート」を次のとおり8回開催しました。

	開催日	コンサートタイトル及び出演者	来場者数
地下鉄博物館	H30.5.4	第74回 “キッズコンサート” 出演者：ホンカーズ	307人
	H30.9.8	第75回 “ピアノで奏でる名曲の数々” 出演者：塩田純子	269人
	H30.12.8	第76回 “クリスマスファミリーコンサート” 出演者：ララ・カンツォーネ	355人
	H31.2.16	第77回 “音楽の世界旅行” 出演者：佐々木大芽とその仲間たち	269人
渋谷駅構内	H30.5.28	第14回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽四重奏」「木管五重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部生ほか	585人
	H30.8.1	第15回 ステーションコンサート in 渋谷 「サクソフォン五重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部生ほか	509人
	H30.10.20	第16回 ステーションコンサート in 渋谷 「ピアノ&ヴァイオリン」「ピアノカルテット」 出演者：東京藝術大学大学院生	500人
	H30.10.21	第17回 ステーションコンサート in 渋谷 「木管五重奏」「ピアノ&金管八重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部生ほか	503人

(注) 駅構内でのコンサートのうち 10.20 及び 10.21 は、渋谷音楽祭の一環として開催。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者の募集を行い、28,585人の応募者の中から厳選のうえ、2,000人を招待し、東京芸術劇場において、次のとおりコンサートを開催しました。

・第13回「メトロポリス・クラシックス」コンサート（平成30年11月11日開催）

テーマ“チャイコフスキー 華麗なる珠玉のメロディ”

出演：東京都交響楽団ほか

来場者1,786人

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を8回から10回に増やし開催しました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者
89	H30.4.26 新規施設	社会福祉法人 育秀会 特別養護老人ホーム 育秀苑 (練馬区) 出演者：ララ・カンツォーネ	69人
90	H30.5.21	社会福祉法人 邦友会 特別養護老人ホーム 新宿げやき園 (新宿区) 出演者：ララ・カンツォーネ	55人
91	H30.5.25 新規施設	社会福祉法人 聖風会 特別養護老人ホーム グリーンハイム荒川 (荒川区) 出演者：ララ・カンツォーネ	71人
92	H30.6.4	社会福祉法人 賛育会 特別養護老人ホーム 東京清風園 (墨田区) 出演者：アンサンブル・ディベルターズ	101人
93	H30.6.25	社会福祉法人 多摩同胞会 特別養護老人ホーム かねだ連雀 (千代田区) 出演者：アンサンブル・ディベルターズ	23人
94	H30.7.13	社会福祉法人 聖風会 特別養護老人ホーム 扇 (足立区) 出演者：ララ・カンツォーネ	42人
95	H30.7.14 新規施設	順天堂大学医学部附属 浦安病院 (浦安市) 出演者：アンサンブル・ディベルターズ	256人
96	H30.9.16 新規施設	社会福祉法人 奉優会 特別養護老人ホーム 杏掛ホーム (杉並区) 出演者：ララ・カンツォーネ	50人
97	H30.11.22	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター (江東区) 出演者：東京都交響楽団ほか	102人
98	H30.12.12	東京都立中野特別支援学校 (中野区) 出演者：東京都交響楽団	375人

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品を当財団のホームページやメトロニュース等で募集した結果、10,070点の応募がありました。

3人の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。

- ・第一次展示（「鉄道の日（10月14日）」を挟む平成30年10月6日から10月16日まで）

優秀作品300点を三越前駅コンコースに展示

- ・第二次展示（平成30年10月18日から10月24日まで）

優秀作品（特選）30点及び奨励賞作品300点を三越前駅コンコースに展示

- ・第三次展示（平成30年10月30日から11月11日まで）

優秀作品及び奨励賞作品の600点を地下鉄博物館に展示

審査員：大石法枝氏（新象作家協会委員）

小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会常務理事）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を次のとおり2回開催しました。

また、撮影作品の中から優秀作品を選考し、「メトロ文化展 写真の部」として次のとおり展示しました。

- ・第42回 写真教室及び撮影会（平成30年5月19日開催）

場 所：柳橋・両国周辺

応募者 74人 参加者 45人（定員50人）

講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品展示：90点を展示

三越前駅コンコース（平成30年7月20日から7月27日まで）

・第43回 写真教室及び撮影会（平成30年10月13日開催）

場 所：王子・東十条周辺

応募者 82人 参加者 40人（定員50人）

講 師：同 上

作品展示：90点を展示

三越前駅コンコース（平成31年1月18日から1月25日まで）

なお、作品展示については、各回ごとの作品を集約し、平成31年1月29日から2月11日までの間、地下鉄博物館で全ての作品を展示しました。

また、地下鉄博物館では、同期間「写真で見るメトロ写真教室の歩み」と題して、講師中谷吉隆氏の第31回から第35回までの作品もあわせて展示しました。

ウ 文学の部

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を春と秋の2回、当財団のホームページやメトロニュース等で行いました。応募された作品の中から優秀作品6編を選び、電車内中吊りポスターで掲出するとともに、入選作品20編を選び、「写真の部」と同時に、「メトロ文化展 文学の部」として次のとおり展示しました。

・第27回募集（平成30年4月1日から5月31日まで）

応募数：649編（467人）

選 者：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品掲出：優秀作品6編

電車内（平成30年7月1日から12月31日まで）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編

三越前駅コンコース（平成30年7月20日から7月27日まで）

・第28回募集（平成30年10月1日から11月30日まで）

応募数：482編（358人）

選 者：同 上

作品掲出：優秀作品6編

電車内（平成31年1月1日から6月30日まで）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編

三越前駅コンコース（平成31年1月18日から1月25日まで）

なお、作品展示については、各回ごとの作品を集約し、平成31年1月29日から2月11日までの間、地下鉄博物館で全ての作品を展示しました。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を財団のホームページや「Echika 池袋ギャラリー」において紹介しました。

本年度は、練馬区と北区の紹介を次のとおり行いました。

ア 練馬区

「いきいき TOKYO 夢 NERIMA」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・財団ホームページへの掲載（平成30年10月1日から）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（平成30年9月29日から10月30日まで）

イ 北区

「いきいき TOKYO 夢 KITA-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・財団ホームページへの掲載（平成31年2月1日から）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（平成31年2月1日から2月27日まで）

また、本年度から江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人による実演会を「伝統工芸の職人技を見る！」と題し、次のとおり2回開催しました。

ウ 荒川区（平成30年8月25日及び26日開催）

場 所：地下鉄博物館ホール
職 人：江戸指物 渡辺 光氏
：江戸手描提灯 村田修一氏
来 場 者：2日間延べ999人

エ 中野区（平成30年10月27日及び28日開催）

場 所：地下鉄博物館ホール
職 人：東京無地染 中原健太郎氏
：江戸表具 田中正武氏、成澤啓予氏
来 場 者：2日間延べ519人

(6) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を次のとおり2回開催しました。

ア 第34回 歴史教室・歴史散歩（平成30年11月10日開催）

場 所：「旧東海道品川宿を歩く」（北品川界限）

応募者 78人 参加者 39人（定員50人）

講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第35回 歴史教室・歴史散歩（平成30年11月17日開催）

場 所：同 上 応募者 87人 参加者 42人（定員50人）

講 師：同 上

（7）Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示については地元豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 内 容
H30.4.28～6.28	平成 29 年度「東京藝術大学 卒業・修了作品展」の中から選ばれた 10 点の優秀作品（3 回に分けて展示）
H30.8.1～8.30	テーマ：「西郷隆盛と火星大接近」 ○展示趣旨 維新の立役者としてその名をとどめつつも数奇な運命により“星になる”など伝説化した西郷隆盛の姿を描いた作品の紹介。 ○展示作品 歌川周延、歌川周重、歌川国貞（三代）桐谷洗鱗によって描かれた作品
H30.9.29～10.30	練馬区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等
H30.12.27 ～H31.1.30	テーマ：「お正月の遊び～絵双六～」 ○展示趣旨 江戸時代後期から様々な種類で登場した絵双六のうち、江戸・東京の名所を色鮮やかに描いた作品の紹介。 ○展示作品 歌川広重、歌川国貞（三代）、浅野薫によって描かれた作品
H31.2.1～2.27	北区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行いました。

パブリックアートは、現在、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品、有楽町線豊洲駅に1作品、銀座線上野駅及び末広町駅に各1作品の合計5駅6作品を設置しています。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び電車内に掲出しました。

本年度は「世界に誇れる、東京のマナーを目指そう」というコンセプトのもと、電車内やホームでのマナーを、年々増えている訪日外国人の視点で描き、日本人のマナーの良い面や、見直すべき部分に改めて気づいていくシリーズで展開していくものとなりました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び東京メトロ主要駅等において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、駅施設見学、地下鉄博物館でのセミナー等を行う「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第18回 鉄道教室（平成30年8月18日開催）

場 所：	東西線妙典駅、妙典乗務管区車掌事務室・運転事務室、地下鉄博物館		
応募者	320人	参加者	69人（定員80人）
内 容：	施設見学	駅員、車掌及び運転士の職場	
	業務説明	駅員、車掌及び運転士の仕事	

セミナー 「鉄道を利用するマナーについて」
映 画 「『東京地下鐵道工事乃実況』で振り返る日本初の地下
鉄建設」
駅員・乗務員との交流会

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布しました。

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 平成30年度第1回（平成30年6月1日開催）

ア 「平成29年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 平成30年度第2回（平成30年6月18日開催）

ア 「代表理事会長の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事長、専務理事及び常務理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

カ 「顧問の委嘱に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の審議内容について」報告がありました。

(3) 平成30年度第3回（平成31年3月12日開催）

ア 「平成31年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 平成30年度定時評議員会（平成30年6月18日開催）

ア 「平成29年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

- イ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。
- ウ 「監事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。
- エ 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の変更に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の審議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成30年6月29日 ・平成29年度事業報告等提出
- (2) 平成30年7月 3日 ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程変更届出
- (3) 平成31年3月20日 ・平成31年度事業計画書等提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成30年6月18日

ア 重任登記

梅崎壽代表理事、村松與章理事、萩原博美理事、賀山弘之理事、内田喜恵理事、白石公子理事、鈴木嗟峨子理事、竹内誠理事、中谷吉隆理事、平松英子理事、吉田茂監事、鈴木信行監事

5 役 員

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	梅 崎 壽
理 事 長	村 松 與 章
専務理事	萩 原 博 美
常務理事	篠 原 新 治
常務理事	賀 山 弘 之
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嗟 峨 子

理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	平 松 英 子
監 事	吉 田 茂
監 事	鈴 木 信 行

(理事 11人、監事 2人)

6 評議員

今期末における評議員は、次のとおりであります。

小坂彰洋、實方 健、鈴木章生、高橋宏之、辻 恵子、堂免敬一、花上嘉成、
平野直樹、山田 徹、若林 功

(10人)

7 従業員

今期末における従業員数は、29人であります。

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

令和元年6月

公益財団法人 メトロ文化財団